

「下妻市の義務教育施設に関するアンケート調査結果」  
【全体】

## ■下妻市の義務教育施設に関するアンケート調査(全体)集計結果 ■

### 1. 調査の目的

本調査は、「下妻市立小中学校適正規模適正配置基本計画」の策定や整備方針の決定の際の基礎資料として活用するために実施した。

### 2. 調査実施概要

#### (1)調査対象

- ・【市民】市内在住の20歳以上の男女 3,000人
- ・【市立小中学校の保護者】市内の小中学生の保護者 2,094人<sup>※1</sup>
- ※1 全児童生徒(3,042人)に配布し、保護者が回答(1世帯1票で集計)(世帯数: 令和6年1月17日時点)
- ・【就学前児童の保護者】市内の就学前児童の保護者 726人<sup>※2</sup>
- ※2 対象者抽出方法
  - ・児童生徒のいる世帯は除いている
  - ・就学前の兄弟がいる場合は1世帯1通として郵送している

#### (2)調査方法

- ・【市民】郵送によりQRコード付き調査票を配布し、票(紙)とインターネットを通じて回収
- ・【市立小中学校の保護者】学校を通じてQRコード付き依頼文を配布し、インターネットを通じて回収
- ・【就学前児童の保護者】郵送によりQRコード付き依頼文を配布し、インターネットを通じて回収

#### (3)調査期間

- ・ 令和5年11月24日(日)～令和5年12月19日(火)

### 3. 配布・回収状況

|                     | ①市民   | ②市立小中学校の保護者 | ③就学前児童の保護者 | 合計    |
|---------------------|-------|-------------|------------|-------|
| 配付数(票)              | 3,000 | 2,094       | 726        | 5,820 |
| 回収数(票) <sup>※</sup> | 700   | 1,179       | 164        | 2,043 |
| 有効回収率               | 23.3% | 56.3%       | 22.6%      | 35.1% |

※市民無回答票(1票)を除く。

### 4. アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・ 集計した数値(%)は、小数第2位を四捨五入した小数第1位までの表示となっている。したがって、シングル・アンサー(SA)(1つの選択肢のみを回答する設問)の合計は、100.0%とならない場合がある。
- ・ 回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、マルチ・アンサー(MA)(複数の選択肢を回答する設問)の各選択肢の割合を合計した場合、100.0%を超えた数値となる。
- ・ グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合がある。
- ・ 回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合がある。

※ 有効回答者数は各設問に(n=●●)で表してある。回答数が限定されている設問で規定数以上を選択している場合や、対象者限定の設問で該当しない人が選択した票はカウントしていない。

## 5. アンケート調査項目

| 問                                           | 調査内容                                                            | 回答形式 |
|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------|
| I 学校の適正規模適正配置について                           |                                                                 |      |
| 1 あなたのお住まいの地区の学校の規模について、お伺いします              |                                                                 |      |
| 問1                                          | 小学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいと考えますか。                                    | 単一回答 |
| 問2                                          | 中学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいと考えますか。                                    | 単一回答 |
| 2 あなたのお住まいの地区の学校の存続について、お伺いします              |                                                                 |      |
| 問3                                          | 小学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきと考えますか。                              | 単一回答 |
| 問4                                          | 中学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきと考えますか。                              | 単一回答 |
| II 学校の通学条件・教育条件について                         |                                                                 |      |
| 3 あなたのお住まいの地区の学校が現在と異なる場所に移転した場合について、お伺いします |                                                                 |      |
| 問5                                          | 小学校に徒歩で通学する場合の通学距離は、最大で何kmまで可能と考えますか。                           | 単一回答 |
| 問6                                          | 小学校スクールバスが運行されることになった場合の通学時間は、バスの乗降場所への移動時間を含め、最大で何分まで可能と考えますか。 | 単一回答 |
| 問7                                          | 中学校に自転車で通学する場合の通学距離は、最大で何kmまで可能と考えますか。                          | 単一回答 |
| 問8                                          | 中学校スクールバスが運行されることになった場合の通学時間は、バスの乗降場所への移動時間を含め、最大で何分まで可能と考えますか。 | 単一回答 |
| 4 あなたのお住まいの地区の学校の通学条件や教育条件について、お伺いします       |                                                                 |      |
| 問9                                          | 小学校において特に重要と考える通学条件や教育条件を選んでください。                               | 複数回答 |
| 問10                                         | 中学校において特に重要と考える通学条件や教育条件を選んでください。                               | 複数回答 |
| III 小中一貫教育について                              |                                                                 |      |
| 問11                                         | 小中一貫教育を導入することについて、どのように考えますか。                                   | 単一回答 |
| 問11+                                        | 「導入すべきでない」と答えた方は、その理由をご入力ください。                                  | 自由記述 |
| IV 学校給食について                                 |                                                                 |      |
| 問12                                         | 学校給食の提供方法は、どのような形を希望しますか。                                       | 単一回答 |
| 問13                                         | 学校給食において、特に重要と考えることを選んでください。                                    | 複数回答 |
| V あなたご自身について                                |                                                                 |      |
| 問14                                         | 年齢をお選びください。                                                     | 単一回答 |
| 問15                                         | お住まいの地区の小学校区をお選びください。                                           | 単一回答 |
| 問16                                         | 前問で回答した小学校区での累計居住期間をお選びください。                                    | 単一回答 |
| VI お子さんについて                                 |                                                                 |      |
| 問17*                                        | お子さんが在籍する子育て・教育施設をお選びください。                                      | 単一回答 |
| 問18*                                        | お子さんから見たあなたの続柄をお選びください。                                         | 複数回答 |
| 問19*                                        | お子さんの国籍をお選びください。                                                | 単一回答 |
| VII 下妻市の義務教育施設(市立小中学校)について                  |                                                                 |      |
| 問20                                         | 最後に下妻市の義務教育施設(市立小中学校)について、ご意見等があればお聞かせください。                     | 自由記述 |

\*…市立小中学校の保護者、就学前児童の保護者のみが対象の設問

## 6. アンケート調査結果(単純集計)

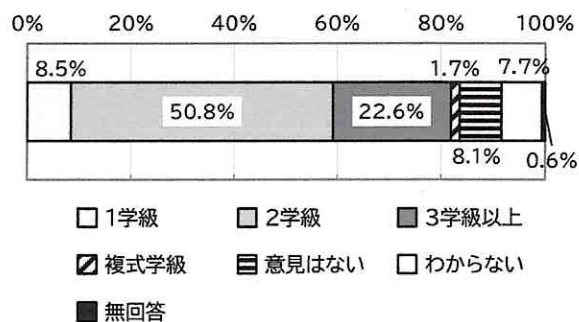
### I 学校の適正規模適正配置について

#### 1 あなたのお住まいの地区の学校の規模について

問1 小学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいか[SA]

| 項目順 |       | 票数    | %      |
|-----|-------|-------|--------|
| 1   | 1学級   | 173   | 8.5%   |
| 2   | 2学級   | 1,037 | 50.8%  |
| 3   | 3学級以上 | 462   | 22.6%  |
| 4   | 複式学級  | 35    | 1.7%   |
| 5   | 意見はない | 166   | 8.1%   |
| 6   | わからない | 158   | 7.7%   |
|     | 無回答   | 12    | 0.6%   |
|     | 合計    | 2,043 | 100.0% |

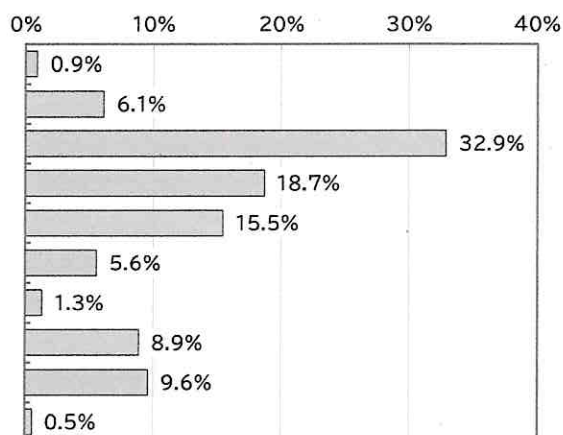
n= 2,043



問2 中学校の各学年の規模は、どの程度が望ましいか[SA]

| 項目順 |       | 票数    | %      |
|-----|-------|-------|--------|
| 1   | 1学級   | 19    | 0.9%   |
| 2   | 2学級   | 125   | 6.1%   |
| 3   | 3学級   | 672   | 32.9%  |
| 4   | 4学級   | 382   | 18.7%  |
| 5   | 5学級   | 316   | 15.5%  |
| 6   | 6学級以上 | 114   | 5.6%   |
| 7   | 複式学級  | 27    | 1.3%   |
| 8   | 意見はない | 181   | 8.9%   |
| 9   | わからない | 196   | 9.6%   |
|     | 無回答   | 11    | 0.5%   |
|     | 合計    | 2,043 | 100.0% |

n= 2,043

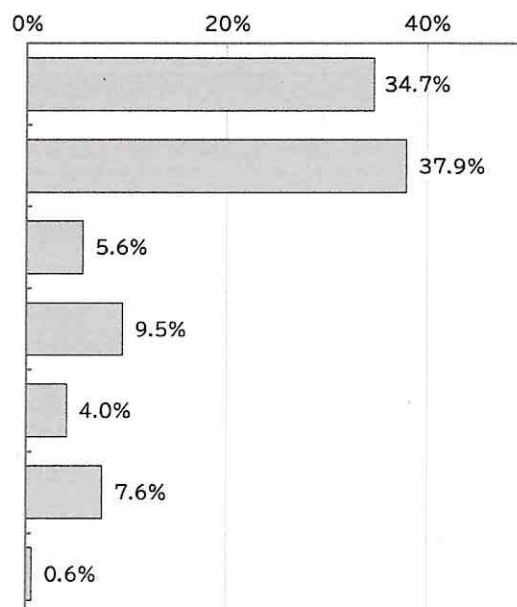


## 2 あなたのお住まいの地区の学校の存続について

### 問3 小学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきか[SA]

| 項目順 |                                        | 票数    | %      |
|-----|----------------------------------------|-------|--------|
| 1   | 国・茨城県・下妻市の適正規模の範囲内の1学年2学級以上であれば存続させるべき | 709   | 34.7%  |
| 2   | 1学年1学級であっても、1学年の平均が16人以上であれば存続させるべき    | 775   | 37.9%  |
| 3   | 複式学級が存在しなければ存続させるべき                    | 115   | 5.6%   |
| 4   | 1学年がどんなに少なくとも存続させるべき                   | 195   | 9.5%   |
| 5   | 意見はない                                  | 82    | 4.0%   |
| 6   | わからない                                  | 155   | 7.6%   |
|     | 無回答                                    | 12    | 0.6%   |
|     | 合計                                     | 2,043 | 100.0% |

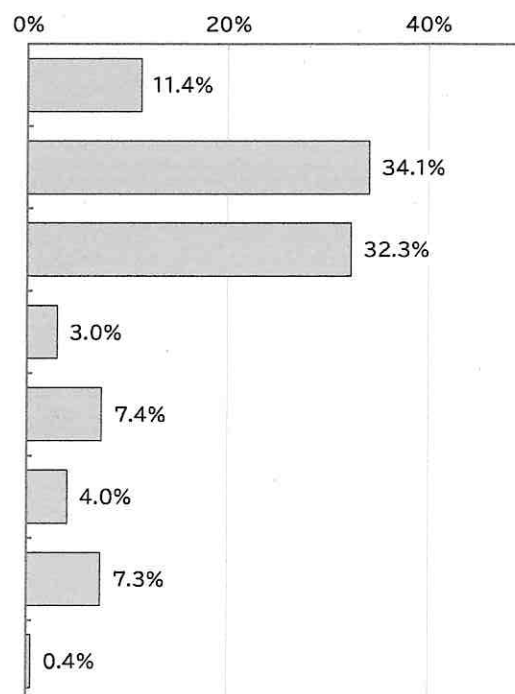
n = 2,043



### 問4 中学校は、各学年の規模がどの程度であれば存続させるべきか[SA]

| 項目順 |                                      | 票数    | %      |
|-----|--------------------------------------|-------|--------|
| 1   | 国の適正規模の範囲内の1学年4学級以上であれば存続させるべき       | 232   | 11.4%  |
| 2   | 茨城県・下妻市の適正規模の範囲内の1学年3学級以上であれば存続させるべき | 697   | 34.1%  |
| 3   | クラス替えができる1学年2学級以上であれば存続させるべき         | 660   | 32.3%  |
| 4   | 複式学級が存在しなければ存続させるべき                  | 61    | 3.0%   |
| 5   | 1学年がどんなに少なくとも存続させるべき                 | 152   | 7.4%   |
| 6   | 意見はない                                | 82    | 4.0%   |
| 7   | わからない                                | 150   | 7.3%   |
|     | 無回答                                  | 9     | 0.4%   |
|     | 合計                                   | 2,043 | 100.0% |

n = 2,043



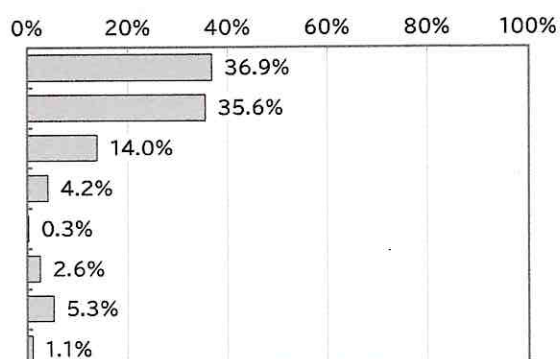
## Ⅱ 学校の通学条件・教育条件について

### 3 あなたのお住まいの地区の学校が現在と異なる場所に移転した場合について

#### 問5 小学校に徒歩で通学する場合の、許容できる最大の通学距離[SA]

| 項目順 |       | 票数    | %      |
|-----|-------|-------|--------|
| 1   | 2km以内 | 754   | 36.9%  |
| 2   | 3km以内 | 727   | 35.6%  |
| 3   | 4km以内 | 286   | 14.0%  |
| 4   | 5km以内 | 86    | 4.2%   |
| 5   | 5km超過 | 6     | 0.3%   |
| 6   | 意見はない | 54    | 2.6%   |
| 7   | わからない | 108   | 5.3%   |
|     | 無回答   | 22    | 1.1%   |
|     | 合計    | 2,043 | 100.0% |

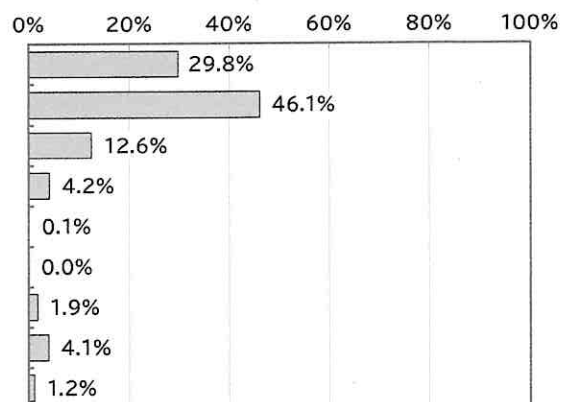
n= 2,043



#### 問6 小学校スクールバスが運行されることになった場合の、許容できる最大の通学時間[SA]

| 項目順 |       | 票数    | %      |
|-----|-------|-------|--------|
| 1   | 15分以内 | 609   | 29.8%  |
| 2   | 30分以内 | 942   | 46.1%  |
| 3   | 45分以内 | 257   | 12.6%  |
| 4   | 60分以内 | 86    | 4.2%   |
| 5   | 90分以内 | 3     | 0.1%   |
| 6   | 90分超過 | 0     | 0.0%   |
| 7   | 意見はない | 38    | 1.9%   |
| 8   | わからない | 83    | 4.1%   |
|     | 無回答   | 25    | 1.2%   |
|     | 合計    | 2,043 | 100.0% |

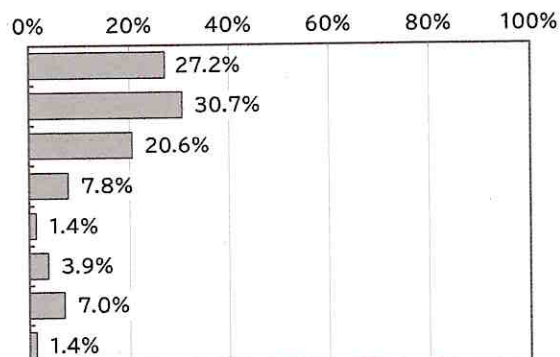
n= 2,043



問7 中学校に自転車で通学する場合の、許容できる最大の通学距離[SA]

| 項目順 |       | 票数    | %      |
|-----|-------|-------|--------|
| 1   | 4km以内 | 555   | 27.2%  |
| 2   | 5km以内 | 627   | 30.7%  |
| 3   | 6km以内 | 420   | 20.6%  |
| 4   | 7km以内 | 160   | 7.8%   |
| 5   | 7km超過 | 29    | 1.4%   |
| 6   | 意見はない | 79    | 3.9%   |
| 7   | わからない | 144   | 7.0%   |
|     | 無回答   | 29    | 1.4%   |
|     | 合計    | 2,043 | 100.0% |

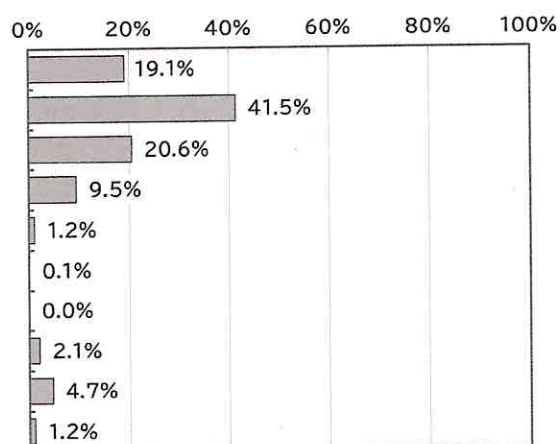
n = 2,043



問8 中学校スクールバスが運行されることになった場合の、許容できる最大の通学時間[SA]

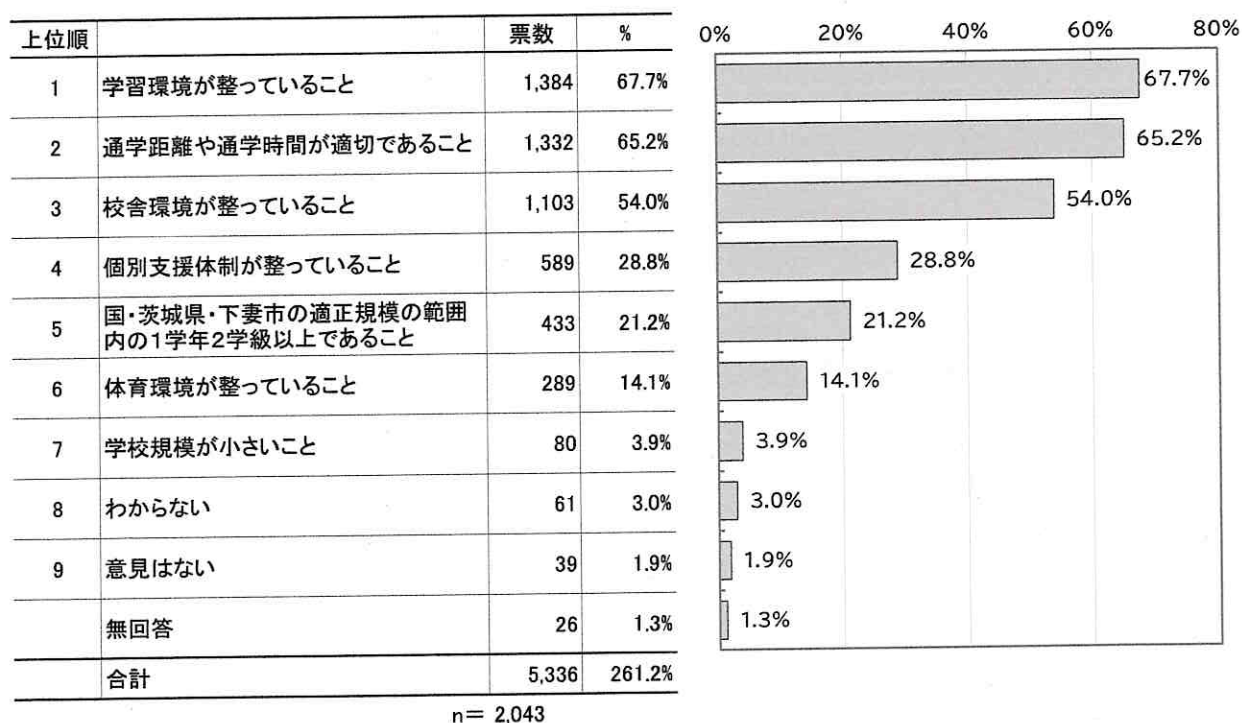
| 項目順 |        | 票数    | %      |
|-----|--------|-------|--------|
| 1   | 15分以内  | 391   | 19.1%  |
| 2   | 30分以内  | 847   | 41.5%  |
| 3   | 45分以内  | 420   | 20.6%  |
| 4   | 60分以内  | 195   | 9.5%   |
| 5   | 90分以内  | 24    | 1.2%   |
| 6   | 120分以内 | 2     | 0.1%   |
| 7   | 120分超過 | 0     | 0.0%   |
| 8   | 意見はない  | 43    | 2.1%   |
| 9   | わからない  | 97    | 4.7%   |
|     | 無回答    | 24    | 1.2%   |
|     | 合計     | 2,043 | 100.0% |

n = 2,043

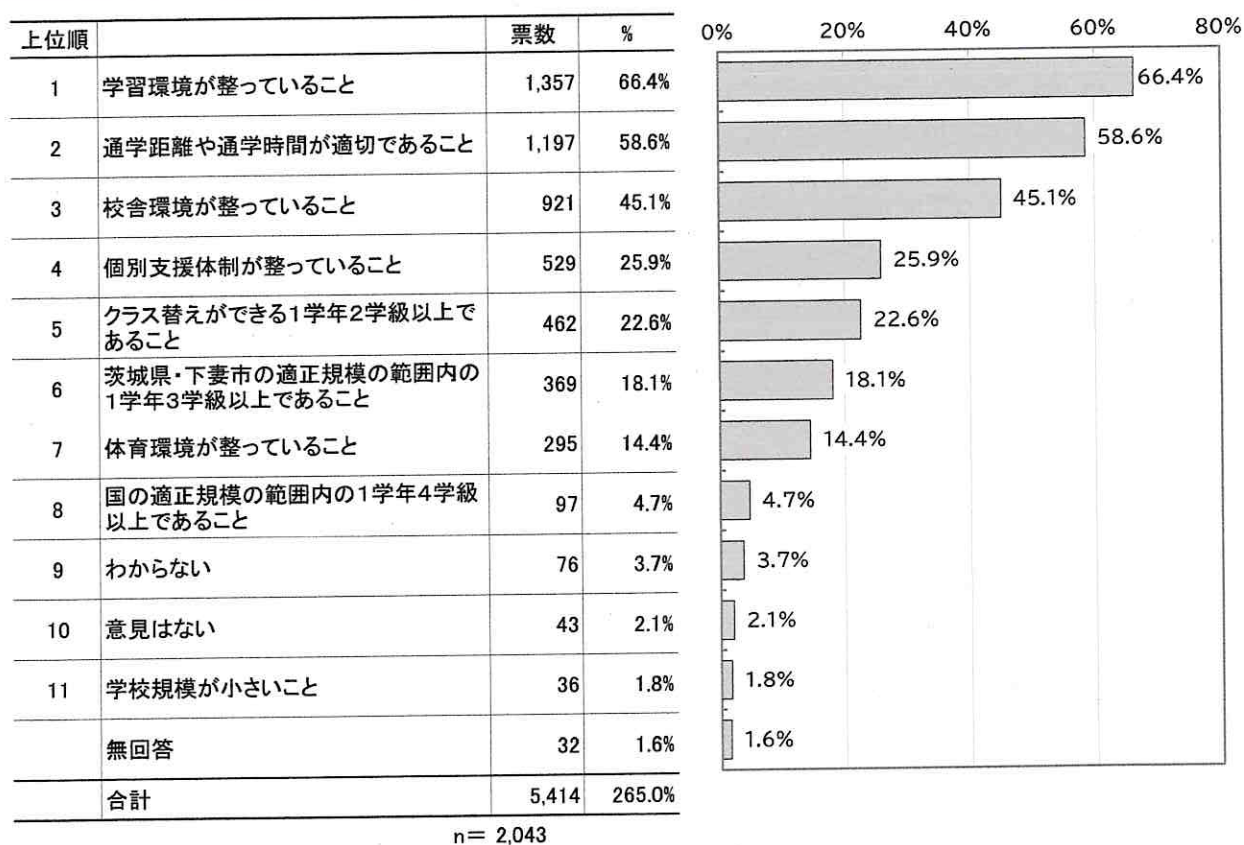


#### 4 あなたのお住まいの地区の学校の通学条件や教育条件について

##### 問9 小学校において特に重要と考える通学条件や教育条件(3つまで選択)[MA]



##### 問10 中学校において特に重要と考える通学条件や教育条件(3つまで選択)[MA]

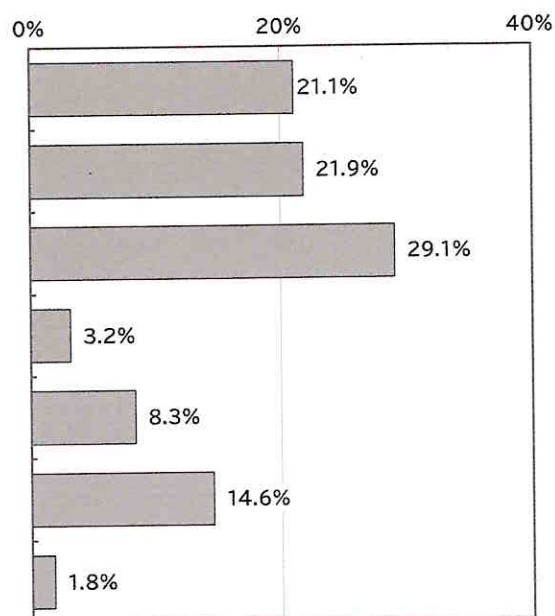


### Ⅲ 小中一貫教育について

#### 問11 小中一貫教育を導入することについて[SA]

| 項目順 |                                       | 票数    | %      |
|-----|---------------------------------------|-------|--------|
| 1   | 導入するのであれば義務教育学校が望ましい                  | 431   | 21.1%  |
| 2   | 導入するのであれば小中一貫型小学校・中学校が望ましい            | 447   | 21.9%  |
| 3   | 導入するのであれば義務教育学校、小中一貫型小学校・中学校のどちらも望ましい | 595   | 29.1%  |
| 4   | 導入すべきでない                              | 65    | 3.2%   |
| 5   | 意見はない                                 | 170   | 8.3%   |
| 6   | わからない                                 | 298   | 14.6%  |
|     | 無回答                                   | 37    | 1.8%   |
|     | 合計                                    | 2,043 | 100.0% |

n = 2,043

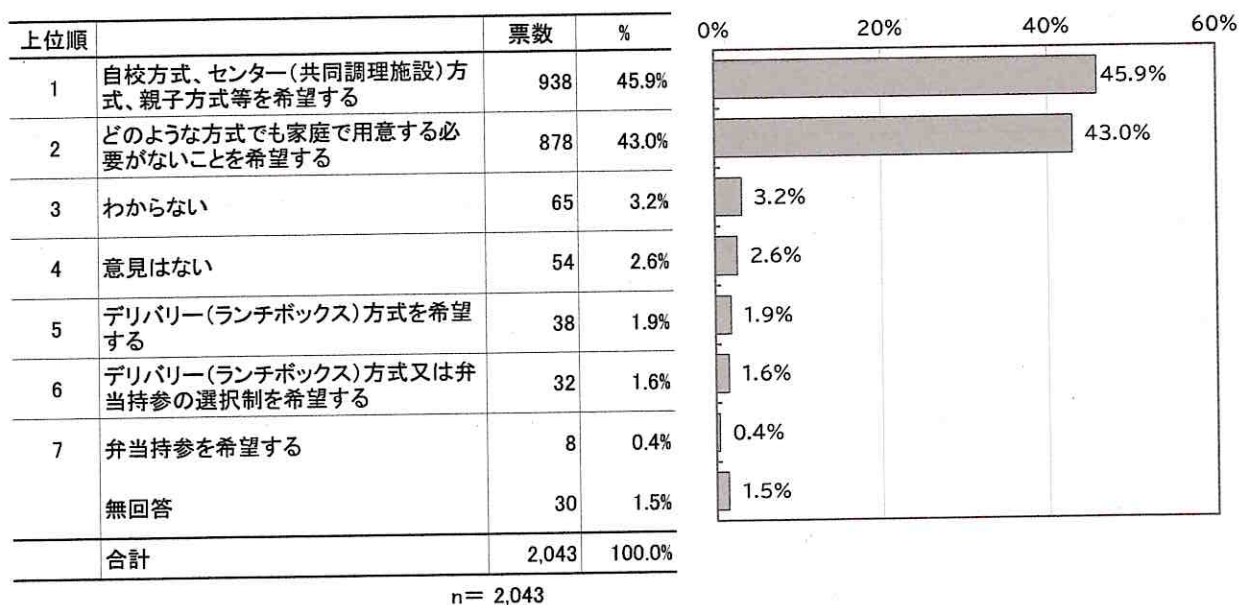


#### 問11+ 導入すべきでないとする理由[FA]

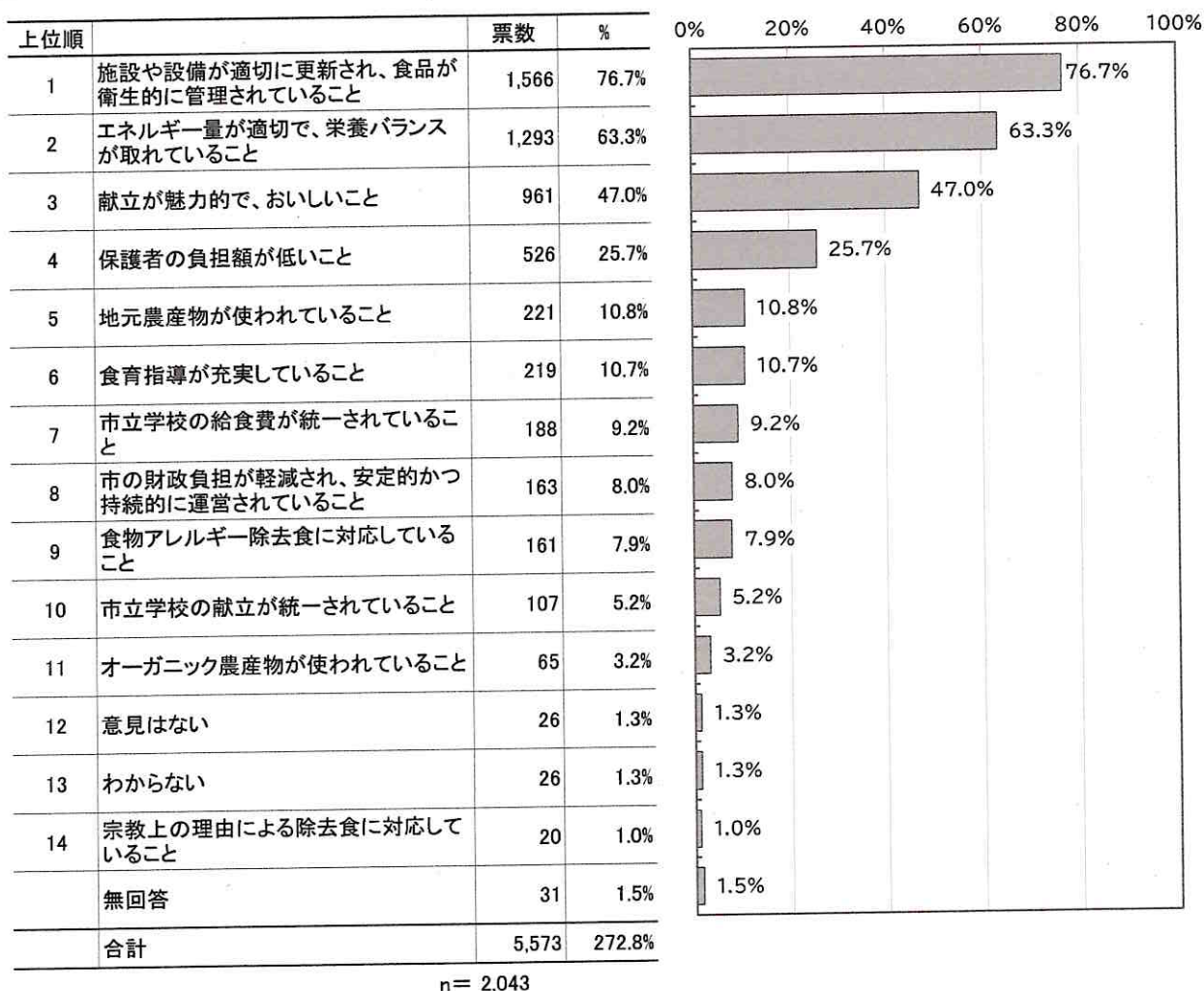
(①市民、②市立小中学校の保護者、③就学前児童の保護者で記載)

## IV 学校給食について

### 問12 学校給食において、希望する提供方法[SA]



### 問13 学校給食において、特に重要と考えること(3つまで選択)[MA]

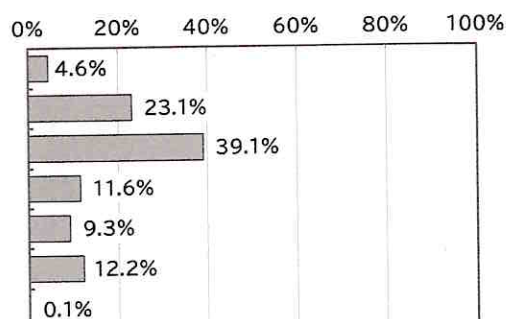


## V あなたご自身について

### 問14 年齢[SA]

| 項目順 |         | 票数    | %      |
|-----|---------|-------|--------|
| 1   | ～29歳    | 93    | 4.6%   |
| 2   | 30歳～39歳 | 472   | 23.1%  |
| 3   | 40歳～49歳 | 799   | 39.1%  |
| 4   | 50歳～59歳 | 237   | 11.6%  |
| 5   | 60歳～69歳 | 189   | 9.3%   |
| 6   | 70歳～    | 250   | 12.2%  |
|     | 無回答     | 3     | 0.1%   |
|     | 合計      | 2,043 | 100.0% |

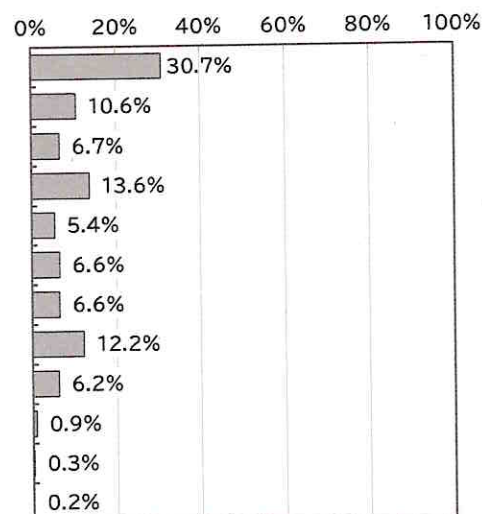
n = 2,043



### 問15 居住している地区の小学校区[SA]

| 項目順 |       | 票数    | %      |
|-----|-------|-------|--------|
| 1   | 下妻    | 628   | 30.7%  |
| 2   | 大宝    | 216   | 10.6%  |
| 3   | 勝波ノ江  | 136   | 6.7%   |
| 4   | 上妻    | 278   | 13.6%  |
| 5   | 総上    | 111   | 5.4%   |
| 6   | 豊加美   | 135   | 6.6%   |
| 7   | 高道祖   | 134   | 6.6%   |
| 8   | 宗道    | 250   | 12.2%  |
| 9   | 大形    | 127   | 6.2%   |
| 10  | 下妻市以外 | 18    | 0.9%   |
| 11  | わからない | 6     | 0.3%   |
|     | 無回答   | 4     | 0.2%   |
|     | 合計    | 2,043 | 100.0% |

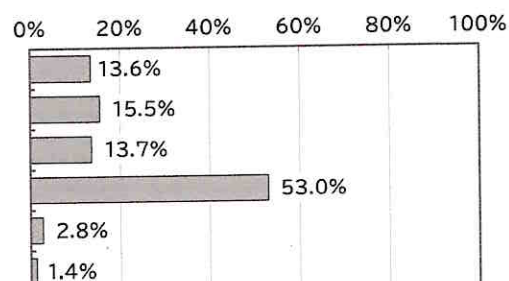
n = 2,043



### 問16 問15の小学校区での累計居住期間[SA]

| 項目順 |       | 票数    | %      |
|-----|-------|-------|--------|
| 1   | 5年以内  | 278   | 13.6%  |
| 2   | 10年以内 | 317   | 15.5%  |
| 3   | 15年以内 | 280   | 13.7%  |
| 4   | 15年超過 | 1,082 | 53.0%  |
| 5   | わからない | 57    | 2.8%   |
|     | 無回答   | 29    | 1.4%   |
|     | 合計    | 2,043 | 100.0% |

n = 2,043

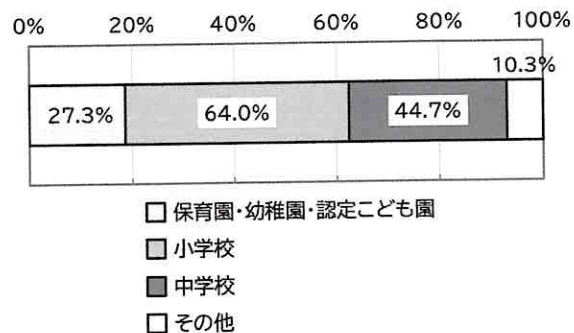


## VI お子さんについて ※市立小中学校の保護者、就学前児童の保護者のみが回答対象

問17 お子さんが在籍する子育て・教育施設(あてはまるものすべてを選択)[MA]

| 項目順 |                | 票数    | %     |
|-----|----------------|-------|-------|
| 1   | 保育園・幼稚園・認定こども園 | 366   | 27.3% |
| 2   | 小学校            | 860   | 64.0% |
| 3   | 中学校            | 600   | 44.7% |
| 4   | その他            | 138   | 10.3% |
|     | 無回答            | 0     | 0.0%  |
|     | 合計             | 1,964 | 146%  |

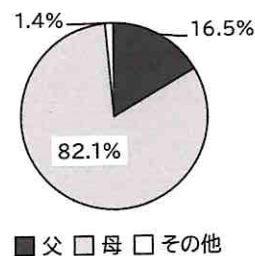
n = 1,343



問18 お子さんから見たあなたの続柄[SA]

| 項目順 |     | 票数    | %      |
|-----|-----|-------|--------|
| 1   | 父   | 222   | 16.5%  |
| 2   | 母   | 1,102 | 82.1%  |
| 3   | その他 | 19    | 1.4%   |
|     | 無回答 | 0     | 0.0%   |
|     | 合計  | 1,343 | 100.0% |

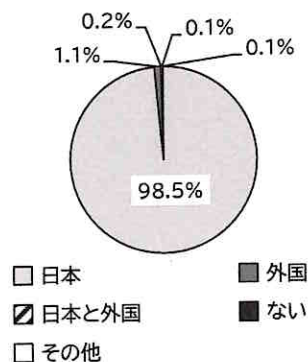
n = 1,343



問19 お子さんの国籍[SA]

| 項目順 |       | 票数    | %      |
|-----|-------|-------|--------|
| 1   | 日本    | 1,323 | 98.5%  |
| 2   | 外国    | 15    | 1.1%   |
| 3   | 日本と外国 | 3     | 0.2%   |
| 4   | ない    | 1     | 0.1%   |
| 5   | その他   | 1     | 0.1%   |
|     | 無回答   | 0     | 0.0%   |
|     | 合計    | 1,343 | 100.0% |

n = 1,343



## VII 下妻市の義務教育施設(市立小中学校)について

問20 下妻市の義務教育施設(市立小中学校)について[FA]

(①市民、②市立小中学校の保護者、③就学前児童の保護者で記載)

## 7. 調査票

(①市民、②市立小中学校の保護者、③就学前児童の保護者で記載)

## 8. 参考資料

# 下妻市の義務教育施設に関するアンケート調査 ご回答に当たっての参考資料

## I 学校の適正規模適正配置

### I-1. 国・県・市の学校の適正規模の範囲（問1・2・3・4の参考資料）

|     | 小学校                              | 中学校                              |
|-----|----------------------------------|----------------------------------|
| 国   | 12学級（各学年2学級）以上<br>18学級（各学年3学級）以下 | 12学級（各学年4学級）以上<br>18学級（各学年6学級）以下 |
| 茨城県 | 12学級（各学年2学級）以上                   | 9学級（各学年3学級）以上                    |
| 下妻市 | 12学級（各学年2学級）以上                   | 9学級（各学年3学級）以上                    |

※全学年でクラス替えを可能としたり、学級を超えた集団編制を可能としたり、同学年に複数教員を配置するため、少なくとも1学年2学級以上が必要となります。

### I-2. 複式学級を編制する児童生徒数の標準（問1・2・3・4の参考資料）

| 複式学級とは、2つの学年を1つに編制した学級のこと |                                      |                                                                                                                              |
|---------------------------|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 小学校                       | 連続する2学年の児童数が16人以下<br>（1年生を含む場合は8人以下） | （例）小学校 3・4年生の場合<br> 合計が16人の場合<br>複式学級になる |
| 中学校                       | 連続する2学年の生徒数が8人以下                     |  合計が17人の場合<br>複式学級にならない                  |

### I-3. 国・県・市の学校の統合基準（問1・2・3・4の参考資料）

|     | 小学校                                                 | 中学校                                    |
|-----|-----------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 国   | 学校の標準規模 <sup>（注1）</sup> （12学級以上）を下回る場合に検討することが必要である |                                        |
| 茨城県 | 全ての学年においてクラス替えができない1学年1学級の学校について、統合を検討すべき           | クラス替えができない5学級以下の学校について、統合や学区の見直しを検討すべき |
| 下妻市 | 1学年平均15人以下又は複式学級ができる年度に、統合の対象とする                    | 1学年3学級を下回った場合に、改めて検討を行う                |

（注1）標準規模が確保されることで、多様な意見に触れさせることができる、クラブ活動や部活動の種類が多い、運動会・文化祭・遠足・修学旅行等の集団活動や行事の実施に制約が生じない、体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じない、協働的な学習の実施に制約が生じない、班活動やグループ分けに制約が生じない、上級生・下級生間のコミュニケーションや学習・進路選択の模範となる先輩の数が多いなどの効果が期待される。

## Ⅱ 学校の通学条件・教育条件

### Ⅱ-1. 国の通学距離の基準（問5・7の参考資料）

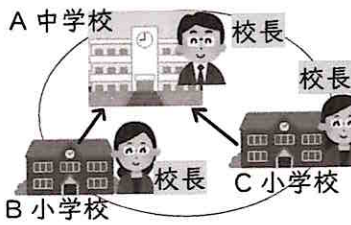
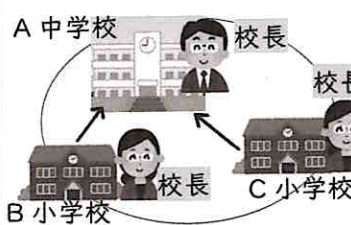
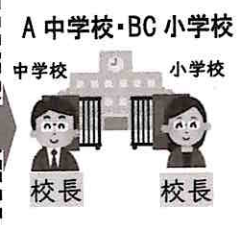
|     |           |
|-----|-----------|
| 小学校 | おおむね4km以内 |
| 中学校 | おおむね6km以内 |

### Ⅱ-2. 通学条件・教育条件の具体例（問1・2・3・4・9・10の参考資料）

| 通学条件<br>教育条件    | 具体例                                                                                                                       |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 通学距離や通学時間が適切である | 通学距離が一定範囲内である、通学距離が長い場合はスクールバスが運行される                                                                                      |
| 1学年が2学級以上である    | クラス替えができる、児童同士の人間関係や児童と教員との人間関係に配慮した学級編制ができる、新たな人間関係を構築する力を身に付けさせることができる、クラス替えを契機として意欲を新たにすることができる、学級同士が切磋琢磨する環境を作ることができる |
| 学校規模が小さい        | 一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握したきめ細やかな指導ができる、意見や感想を発表できる機会やリーダーを務める機会が多くなる、地域の協力が得られやすいため郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい           |
| 校舎環境が整っている      | 校舎の老朽化対策が実施されている、エアコンが設置されている、トイレが洋式化されている                                                                                |
| 体育環境が整っている      | 授業等で利用できる体育館、グラウンド、プール等が充実している                                                                                            |
| 学習環境が整っている      | 学校の図書室、ICT 機器、ICT 支援員、ALT（英語指導助手）等が充実している                                                                                 |
| 個別支援体制が整っている    | 特別支援教育、外国人への日本語指導等が充実している                                                                                                 |

### Ⅲ 小中一貫教育

#### Ⅲ-1. 義務教育学校と小中一貫型小学校・中学校の定義（問11の参考資料）

|                  | 【再編前】                                                                                                                                                    | → 【再編後】                                                                                                                      | 特 徴                                                                              |
|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 義務教育学校           |  <p>A 中学校<br/>B 小学校<br/>C 小学校</p>                                       |  <p>ABC 義務教育学校<br/>校長(1人)</p>              | <p>修業年限 9年<br/>(前期課程6年+後期課程3年)</p> <p>校 長 1人</p> <p>教員組織 小・中の区分がなく<br/>1つの組織</p> |
| 小中一貫型<br>小学校・中学校 |  <p>A 中学校<br/>B 小学校<br/>C 小学校</p>                                       |  <p>A 中学校・BC 小学校<br/>中学校 小学校<br/>校長 校長</p> | <p>修業年限 小学校6年<br/>中学校3年</p> <p>校 長 小中それぞれ1人</p> <p>教員組織 小・中ごとに教<br/>職員を組織</p>    |
|                  | <p>1人の校長の下、1つの教職員組織が置かれ、義務教育9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成して実施する学校</p> <p>既存の小中学校の基本的な枠組みは残したまま、義務教育学校に準じた形で9年間の教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成する学校</p> |                                                                                                                              |                                                                                  |

#### Ⅲ-2. 平成26年文部科学省調査「小中一貫教育等についての実態調査の結果」における小中一貫教育の主な成果と課題（問11の参考資料）

|     |                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 成 果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校への進学に不安を覚える児童の減少</li> <li>・中1ギャップ<sup>(注2)</sup>の緩和</li> <li>・小中学校の教職員間で協力して指導に当たる意識の高まり</li> <li>・小中学校の教職員間で互いの良さを取り入れる意識の高まり</li> <li>・小中学校共通で実践する取組の増加</li> </ul> |
| 課 題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の負担感や多忙感の解消</li> <li>・小中学校の教職員間での打合せ時間の確保</li> <li>・小中学校合同の研修時間の確保</li> <li>・小中学校が分散している場合の児童生徒間の交流を図る際の移動手段や移動時間の確保</li> </ul>                                      |

(注2) 小学校から中学校への進学で、新しい環境の学習や生活にうまく適応できず、不登校等の問題行動につながっていく事態

## Ⅳ 学校給食の提供方法

(問 12 の参考資料)

| 提供方法(方式) | 具体的な内容                                                              |
|----------|---------------------------------------------------------------------|
| 自校方式     | 自校に調理施設を整備して給食を調理し、食缶(保温性の高い大型容器)により提供する方式                          |
| センター方式   | センター(共同調理施設)を整備して複数校分の給食を共同調理し、食缶(保温性の高い大型容器)により各学校に配送する方式          |
| 親子方式     | 調理施設を整備した学校を親として、親が自校と子(他校)の分の給食を調理し、食缶により自校に提供するとともに、子(他校)にも配送する方式 |
| デリバリー方式  | 民間事業者が整備した調理施設で調理し、ランチボックスに盛り付けて配送する方式(弁当持参との選択制とすることもできる)          |
| その他      | 他の地方公共団体への委託、一部事務組合の設立、ランチボックスの斡旋、弁当持参等の様々な方式                       |

## Ⅴ 小学校区

(問 15 の参考資料)

| 小学校区名 | 地区名                                                                  |
|-------|----------------------------------------------------------------------|
| 下妻    | 本城町、田町、本宿町、下妻、砂沼新田、坂本新田、大木新田、長塚、石の宮、小野子町、下木戸の一部、今泉の一部                |
| 大宝    | 大宝、騰波ノ江小学校通学区を除いた北大宝、平川戸、横根、坂井、比毛、堀籠、大串、平沼、福田、下妻小学校通学区を除いた下木戸、筑波島の一部 |
| 騰波ノ江  | 若柳、神明、下宮、中郷、下田、数須、大宝小学校通学区を除いた筑波島、北大宝の一部                             |
| 上妻    | 大木、半谷、黒駒、江、平方、尻手、渋井、桐ヶ瀬、前河原、赤須、柴、南原、上野                               |
| 総上    | 下妻小学校通学区を除いた今泉、中居指、二本紀、小島、西古沢                                        |
| 豊加美   | 新堀、加養、亀崎、樋橋、肘谷、山尻、谷田部、柳原、袋畑、東古沢                                      |
| 高道祖   | 高道祖                                                                  |
| 宗道    | 大園木、鯨、田下、下栗、本宗道、宗道、渋田、見田、唐崎、長萱、伊古立、原、羽子、大形小学校通学区を除いた鬼怒               |
| 大形    | 鬼怒の一部、鎌庭、別府、皆葉、五箇、村岡                                                 |